

## 病理学 担当講座（分野）：病理学講座（病態解析学分野）

第3学年 前期

前期 講義 25.5時間 実習 33.0時間

### 教育成果（アウトカム）（講義）

歯科医師として科学的根拠を基盤とした診断と医療を行うために、病理学総論で学んだ基本的概念をもとに口腔領域の疾患およびこれらと関連ある全身性疾患の成り立ち、転帰の過程および治療による経過を細胞および組織レベルで理解する。

### 事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### 講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月8日(水) 1限	武田泰典教授	<b>病理診断</b>	1. 病理診断の意義について説明できる。 2. 病理診断の方法について説明できる。 3. 病理診断と臨床との関連を説明できる。
4月8日(水) 2限	佐藤泰生講師	<b>口腔粘膜の病変</b> 口腔粘膜に生じる種々の病変を理解する。	1. 口腔粘膜に生じる非腫瘍性の病変を分類して説明できる。 2. 口腔粘膜に症状を示す全身性疾患を説明できる。
4月15日(水) 1限	三上俊成准教授	<b>口腔領域の良性腫瘍と腫瘍類似病変</b> 口腔領域に生じる良性腫瘍と腫瘍類似病変を理解する。	1. 口腔領域の良性腫瘍について説明できる。 2. 口腔領域の腫瘍類似病変について説明できる。
4月15日(水) 2限	武田泰典教授	<b>歯の発育異常</b> 歯の発育異常を、歯科臨床との関連から理解する。	1. 歯の大きさと形の異常を説明できる。 2. 歯の数の異常を説明できる。 3. 歯の萌出の異常を説明できる。 4. 歯の位置および咬合の異常を説明できる。 5. 歯の形成不全を説明できる。
4月22日(水) 1限	三上俊成准教授	<b>口腔領域の悪性腫瘍</b> 口腔領域に生じる悪性腫瘍の特徴を理解する。	1. 口腔領域の癌腫について説明できる。 2. 口腔領域の肉腫について説明できる。 3. 前癌病変・前癌状態の種類とそれらの病理学的特徴について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月22日(水) 2限	武田泰典教授	<b>老化総論と口腔領域の老化</b>  老化のメカニズムと加齢に伴う口腔諸組織の変化について理解する。	1. 老化現象と老化学説を説明できる。 2. 加齢に伴う細胞や組織の変化を説明できる。 3. 加齢に伴う口腔諸組織（歯、歯周組織、顎骨、軟組織など）の変化を説明できる。
5月13日(水) 1限	武田泰典教授	<b>歯原性腫瘍</b>  腫瘍総論における歯原性腫瘍の位置付けを理解する。	1. 歯原性腫瘍の臨床的特徴を説明できる。 2. 歯の発生と歯原性腫瘍との関連を説明できる。 3. 歯原性腫瘍の病理学的特徴を説明できる。 4. 歯原性腫瘍の分類を説明できる。
5月20日(水) 1限	三上俊成准教授	<b>嚢胞（1）</b>  口腔領域に生じる嚢胞の病態と病理所見を理解する。	1. 嚢胞の定義と成り立ちを説明できる。 2. 嚢胞の分類を説明できる。 3. 歯原性嚢胞について説明できる。 4. 非歯原性嚢胞について説明できる。
5月27日(水) 1限	三上俊成准教授	<b>嚢胞（2）</b>  口腔領域に生じる嚢胞の病態と病理所見を理解する。	1. 嚢胞の定義と成り立ちを説明できる。 2. 嚢胞の分類を説明できる。 3. 歯原性嚢胞について説明できる。 4. 非歯原性嚢胞について説明できる。
6月3日(水) 1限	武田泰典教授	<b>唾液腺の非腫瘍性病変</b>  唾液腺に生じる種々の非腫瘍性病変を理解する。	1. 唾液腺の代謝障害や化生を説明できる。 2. 唾液腺の結石や嚢胞を説明できる。 3. 唾液腺の炎症性病変を説明できる。 4. 免疫異常に伴う唾液腺病変を説明できる。
6月10日(水) 1限	武田泰典教授	<b>唾液腺の腫瘍</b>  唾液腺腫瘍の病態と病理を理解する。	1. 唾液腺の基本構築を説明できる。 2. 唾液腺の良性腫瘍について説明できる。 3. 唾液腺の悪性腫瘍について説明できる。
6月17日(水) 1限	三上俊成准教授	<b>齲蝕</b>  齲蝕の病因と病態を理解する。	1. 齲蝕の病因を説明できる。 2. 齲蝕の分類を説明できる。 3. エナメル質齲蝕について説明できる。 4. 象牙質齲蝕について説明できる。 5. セメント質齲蝕について説明できる。
6月24日(水) 1限	佐藤泰生講師	<b>歯髄の病変 加齢変化、退行性病変、炎症</b>  歯髄の病変の概念とその病態を理解する。	1. 歯髄の加齢変化を説明できる。 2. 歯髄の退行性病変を説明できる。 3. 歯髄炎の原因をあげ、説明できる。 4. 歯髄炎を病理学的に分類し、その経過を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月1日(水) 1限	佐藤孝教授 (医・病理学講座)	<b>寄生虫病学</b>  現代社会における寄生虫病学の必要性を理解する。	1. 宿主と寄生虫の相互関係を説明できる。 2. 寄生虫の感染経路を説明できる。 3. 寄生虫の種類とその寄生部位について説明できる。 4. 寄生虫感染症の診断法を説明できる。 5. 寄生虫疾患を分類しそれらについて説明できる。
7月1日(水) 2限	佐藤泰生講師	<b>歯周組織の病変</b>  根尖部および辺縁部歯周組織の病変を理解する。	1. 根尖部および辺縁部歯周組織の病変の発生機序について説明できる。 2. 歯周組織の病変を分類し、その経過について説明できる。 3. 歯周組織の病変と全身疾患との関わりを説明できる。 4. エプーリスを説明できる。
7月2日(木) 1限	佐藤泰生講師	<b>顎骨の病変</b>  顎骨に生じる種々の病変、歯性病巣感染を理解する。	1. 骨折と抜歯創の治癒を説明できる。 2. 顎骨の病変を説明できる。 3. 顎関節の病変を説明できる。 4. 歯性病巣感染の概念と疾患を説明できる。
7月2日(木) 2限	武田泰典教授	<b>歯牙硬組織病変</b>  歯牙硬組織の物理的、化学的損傷を中心に理解する。	1. 咬耗を説明できる。 2. 摩耗を説明できる。 3. 酸蝕症を説明できる。 4. その他の歯牙硬組織病変を説明できる。

### 教育成果（アウトカム）（実習）

正常の細胞や組織と対比しながら疾患における細胞や組織の変化を視覚的に認識することによって理解をより確かなものとする。さらに、教員ならびに学生相互対話と、講義資料と実習の結果を統合する作業を通じ、コミュニケーションスキルの向上や学修記録をまとめることを習慣付ける。

### 実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月8日(水) 3、4限	武田泰典教授 三上俊成准教授 ○佐藤泰生講師	<b>粘膜病変と感染症</b>  扁平苔癬、白板症、結核症、放線菌症の病理学的特徴を理解する。	1. 扁平苔癬の病理所見を説明できる。 2. 白板症の病理所見を説明できる。 3. カンジダ症の病理所見を説明できる。 4. 結核結節の病理所見を説明できる。 5. 放線菌症の病理所見を説明できる。 6. 天疱瘡の病理所見を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月15日(水) 3、4限	武田泰典教授 ○三上俊成准教授 佐藤泰生講師	<b>非歯原性腫瘍（良性）</b>  代表的な非歯原性良性腫瘍をあげ、それらの病態と病理所見を理解する。	1. 乳頭腫の病理所見を説明できる。 2. 血管腫の病理所見を説明できる。 3. 神経鞘腫の病理所見を説明できる。 4. 脂肪腫の病理所見を説明できる。 5. 骨形成線維腫の病理所見を説明できる。 6. 神経線維腫の病理所見を説明できる。
4月22日(水) 3、4限	武田泰典教授 ○三上俊成准教授 佐藤泰生講師	<b>非歯原性腫瘍（悪性）</b>  代表的な非歯原性悪性腫瘍をあげ、それらの病態と病理所見を理解する。	1. 上皮異形成と上皮内癌の病理所見を説明できる。 2. 扁平上皮癌の病理所見を説明できる。 3. 悪性黒色腫の病理所見を説明できる。 4. 骨肉腫の病理所見を説明できる。 5. 腫瘍組織の分化度の程度を説明できる。
5月13日(水) 3、4限	○武田泰典教授 三上俊成准教授 佐藤泰生講師	<b>歯原性腫瘍（1）</b>  歯原性腫瘍の病態と病理所見を理解する。	1. エナメル上皮腫の病理所見を説明できる。 2. 腺腫様歯原性腫瘍の病理所見を説明できる。 3. 石灰化嚢胞性歯原性腫瘍の病理所見を説明できる。 4. 石灰化上皮性歯原性腫瘍の病理所見を説明できる。
5月20日(水) 3、4限	○武田泰典教授 三上俊成准教授 佐藤泰生講師	<b>歯原性腫瘍（2）</b>  歯原性腫瘍の病態と病理所見を理解する。	1. 角化嚢胞性歯原性腫瘍の病理所見を説明できる。 2. 歯牙腫（集合型、複雑型）の病理所見を説明できる。 3. 歯原性粘液腫の病理所見を説明できる。
5月27日(水) 3、4限	武田泰典教授 ○三上俊成准教授 佐藤泰生講師	<b>嚢 胞</b>  歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞の病態と病理所見を理解する。	1. 含歯性嚢胞の病理所見を説明できる。 2. 類皮嚢胞の病理所見を説明できる。 3. 鰓嚢胞の病理所見を説明できる。 4. 切歯管嚢胞の病理所見を説明できる。 5. 単純性骨嚢胞の病理所見を説明できる。
6月3日(水) 3、4限	○武田泰典教授 三上俊成准教授 佐藤泰生講師	<b>唾液腺の非腫瘍性病変</b>  非腫瘍性唾液腺病変の病態と病理所見を理解する。	1. 粘液嚢胞の病理所見を説明できる。 2. 慢性硬化性唾液腺炎の病理所見を説明できる。 3. 自己免疫性唾液腺炎の病理所見を説明できる。 4. 巨大細胞封入体症の病理所見を説明できる。
6月10日(水) 3、4限	○武田泰典教授 三上俊成准教授 佐藤泰生講師	<b>唾液腺の腫瘍</b>  唾液腺腫瘍の病態と病理所見を理解する。	1. 多形腺腫の病理所見を説明できる。 2. Warthin 腫瘍の病理所見を説明できる。 3. 腺様嚢胞癌の病理所見を説明できる。 4. 粘表皮癌の病理所見を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月17日(水) 3、4限	武田泰典教授 ○三上俊成准教授 佐藤泰生講師	<b>その他の疾患</b> 骨や粘膜の腫瘍類似病変等について、病態と病理所見を理解する。	1. 骨腫の病理所見を説明できる。 2. 慢性骨髄炎の病理所見を説明できる。 3. 色素沈着と色素性母斑の病理所見を説明できる。 4. 義歯性線維腫の病理所見を説明できる。 5. 線維性異形成症の病理所見を説明できる。
6月24日(水) 3、4限	武田泰典教授 三上俊成准教授 ○佐藤泰生講師	<b>歯髄炎</b> 歯髄炎の病態と病理所見を理解する。	1. 急性漿液性歯髄炎の病理所見を説明できる。 2. 急性化膿性歯髄炎の病理所見を説明できる。 3. 慢性潰瘍性歯髄炎の病理所見を説明できる。 4. 慢性増殖性歯髄炎の病理所見を説明できる。
7月1日(水) 3、4限	武田泰典教授 三上俊成准教授 ○佐藤泰生講師	<b>エプーリス</b> エプーリスの病態を組織学的に理解する。  <b>慢性根尖性歯周炎</b> 慢性根尖性歯周炎の病態と病理所見を理解する。	1. 肉芽腫性エプーリスの病理所見を説明できる。 2. 血管腫性エプーリスの病理所見を説明できる。 3. 慢性歯槽膿瘍の病理所見を説明できる。 4. 歯根肉芽腫の病理所見を説明できる。 5. 歯根嚢胞の病理所見を説明できる。

註：組織実習を始める前に担当者がその日の標本（病変）について解説するので、実習開始5分前に講義室に集合のこと。

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	スタンダード病理学改訂新版	下野正基ほか編	学建書院	2005年
教	新口腔病理学	下野正基、高田隆編	医歯薬出版	2008年

#### 成績評価方法

定期試験（実習試験を含む）によって評価する。
------------------------

## オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
武田 泰典	B-i	月～金		ytakeda@iwate-med.ac.jp、内線 5900, 50901
三上 俊成	〃	〃		
佐藤 泰生	〃	〃		

## 授業に使用する機械・器具と使用目的

[病理学]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
最高級写真顕微鏡一式 AX-80-65	1	基礎実習・研究用機器	実習の視覚素材の作成
ノートパソコン一式 PC-MT1-H3	1	基礎実習・研究用機器	実習の資料提示
顕微鏡デジタルカメラ一式 DP70-SET-A	1	基礎実習・研究用機器	実習の視覚素材の作成
液晶プロジェクター 8125A001	1	基礎実習・研究用機器	実習内容の解説
パソコン一式 PC-MY11FFEEF	1	基礎実習・研究用機器	講義資料の作成
吊り下げスクリーン AM-080V-042	1	基礎実習・研究用機器	病理画像の提示による個別あるいは小グループ教育
ディスカッション顕微鏡(対向型) BX51N-33-D0	1	基礎実習・研修用機器	病理画像の提示による個別あるいは小グループ教育
デスクトップパソコン一式 Mate MY24R/FE-5	1	基礎実習・研究用機器	講義用視覚素材やレジメの作成
カラー複合機 Color image RUNNER iR C3080	1	基礎実習・研究用機器	講義用視覚素材やレジメの作成
デスクトップパソコン一式 Dc5800SF/CT	1	基礎実習専用機器	実習の視覚素材の作成
カラー複合機・imageRUNNER ADVANCE C2218F-V 18PPM	1	基礎実習・研究用機器	講義配布資料作成
デスクトップパソコン・Mate J 一式 MJ28E/L-J SPL	1	基礎実習・研究用機器	講義配布資料作成